

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		医療部門	新規/継続	継続事業	整理番号	6505001	
			分割/統合				
関連 予算 科目	会計	病院事業会計	事業の分割/統合の内容				
	款	企業会計では、事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。	事業所管課				市立市民病院総務課
	項		連絡先				(078)912-2323
	目		自治/法定		開始年度	昭和 25 年度	
	事業		根拠法令・要綱等				明石市病院事業の設置等に関する条例、明石市立病院管理規則
第5次長総の戦略の柱展開の方向		実施方法					<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
個別計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	患者・市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応える。

事業内容	<p>地域住民の医療・福祉に寄与するため、一般病床398床、18の診療科を標榜し住民の健康維持に努めており、以下の取組を行ってきた。高度な医療、医療ニーズに対応するため診療体制の充実を図ってきた。昭和63年麻酔科の標榜、平成2年精神科、理学診療科を標榜、平成9年心療内科新設、平成9年肝臓内科を院内標榜、平成15年循環器科、神経内科を標榜等</p> <p>平成13年救急病院として認定を受け、2次救急病院として救急診療を行っている。</p> <p>平成19年医療情報を電子化し、医療安全性の向上と待ち時間の短縮、業務の効率化のためにオーダリングシステムを導入した。</p> <p>平成20年病院機能評価(Ver5.0)の認定を受け、医療に対する信頼の向上に努めている。</p> <p>平成21年 看護基準10対1から7対1を取得し、急性期病院に求められる看護体制を強化した。またDPC対象病院となった。</p> <p>クリニカルパスの導入 クリニカルパスとは、簡単に述べると「一定の疾患や疾病を持つ患者に対して、入院指導、患者へのオリエンテーション、検査、ケア処置、退院指導などをスケジュール表のようにまとめているもの」。パスの利用により、医療の質向上、患者の満足度向上を図っている。</p> <p>医療機器を導入し、診療内容の充実と医療水準の向上に努めている。</p> <p>平成22年度にはMRI・CTについてフィルムレスとした。</p> <p>平成23年度には回復期リハビリテーションを実施する。</p>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.00	アルバイト	0.00
21決算	2,106,396	2,565,335	4,671,731	2,843	0	4,028,609	640,279	再任用	0.00	その他	0.00
22決算	1,938,904	2,436,010	4,374,914	5,935	0	3,816,190	552,789	任期付	0.00	合計	0.00
23当初予算	1,993,307	2,489,183	4,482,490	8,752	0	3,970,545	503,193				

区分(節)	内容		金額	区分(節)	内容		金額
	材料費	薬品費・診療材料費・給食材料費等			749,209	材料費	薬品費・診療材料費・給食材料費等
経費	事業経営に必要な経費		746,976	経費	事業経営に必要な経費		850,918
減価償却費	固定資産にかかる減価償却費		139,944	減価償却費	固定資産にかかる減価償却費		161,374
研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用		22,219	研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用		31,305
医業外費用	企業債利息等		280,556	医業外費用	企業債利息等		101,261
	合計		1,938,904		合計		1,993,307

整理番号	6505001	事務事業名	医療部門
------	---------	-------	------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み(9月末)
	1日当り診療単価	医療の質が向上すれば単価は上がる	円	入院 43,652 外来 10,284	入院 46,728 外来 10,357	入院 43,889 外来 11,541
	1日当り患者数	地域医療連携や医療の質が向上すれば入院患者数は増加する	人	入院 208	入院 215	入院 221
指標で表せない成果						
患者満足度						

事業の評価(所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守るには不可欠。
	有効性	高い	・医療を行ううえで不可欠である。
	効率性	低い	・医師、看護師の person 費が支出の5割近くを占めており効率性は低い。また、医師、看護師が不足する中で person 費の削減は困難である。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性(所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	廃止					
	手法の改善	廃止					
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・廃止						
今後の事業展開方針							
・23年10月1日より地方独立行政法人へ移行予定							
平成24年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)		24年度予算事業費増減見込(千円)					
平成24年度には独立行政法人へ移行しているため事業費はなし。 なお、移行後の経営安定化支援等の費用は発生する。		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	-4,482,490	-8,752	0	-3,970,545	-503,193
		増加見込	0	0	0	0	0
差引 +		-4,482,490	-8,752	0	-3,970,545	-503,193	

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり、今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名	コメディカル部門	新規/継続	継続事業	整理番号	6505002	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	病院事業会計	事業の分割/統合の内容			
	款	企業会計では、事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。	事業所管課	市立市民病院総務課		
	項		連絡先	(078)912-2323		
	目		自治/法定	開始年度	昭和 25 年度	
	事業		根拠法令・要綱等	明石市病院事業の設置等に関する条例、明石市立病院管理規則		
第5次長総の戦略の柱展開の方向		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
個別計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	患者・市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応えるよう、医療部門を直接支援する。

事業内容	コメディカルは診療を支援する部門。その業務は、リハビリ、臨床検査、放射線など多岐にわたる。これらスタッフと医師、看護師との連携のもとに、患者の診療・治療が進めていく。以下主なコメディカルの事業内容。 放射線部門 放射線部門では、CTやMRIなどの装置で患者の体の内部を撮影し、病気の診断を行う。 リハビリテーション部門 障害を持った患者に対して、機能障害の改善や、日常生活における動作能力を向上させるための訓練などを行う。 臨床検査部門 患者の体の状態を調べるため、さまざまな検査を行う。検査には、「一般」「血液」「血清」「生化学」「細菌」「病理」「生理」がある。 薬剤部門 主な業務内容は、処方内容の確認、薬の調剤や調製、薬の説明や相談への対応など。また、医薬品の適正管理および医薬品に関する最新情報の収集や提供を行っている。 栄養管理部門 患者の病状や年齢に合わせた治療食を提供するとともに、食事療法が必要な方には管理栄養士が栄養面での配慮や食事のとり方などの説明を行う。また、入院時には栄養状態を確認し、回復力を高めるため、栄養・食事面からのサポートを行っている。
-------------	--

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.00	アルバイト	0.00
21決算	1,343,429	812,800	2,156,229	0	0	1,906,972	249,257	再任用	0.00	その他	0.00
22決算	1,148,062	790,460	1,938,522	0	0	1,693,636	244,886	任期付	0.00	合計	0.00
23当初予算	1,311,230	799,712	2,110,942	0	0	1,873,972	236,970				

22年度決算明細	区分(節)	内容	金額	23年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額
	材料費	薬品費・診療材料費・給食材料費等	503,740		503,740	材料費	薬品費・診療材料費・給食材料費等
経費	事業経営に必要な経費	427,204	427,204	経費	事業経営に必要な経費	502,266	
減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	154,598	154,598	減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	176,287	
研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用	4,177	4,177	研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用	5,568	
医業外費用	企業債利息等	58,343	58,343	医業外費用	企業債利息等	43,150	
	合計		1,148,062		合計		1,311,230

整理番号	6505002	事務事業名	コメディカル部門
------	---------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み(9月末)
	1日当り診療単価	医療の質が向上すれば単価は上がる	円	入院 43,652 外来 10,284	入院 46,728 外来 10,357	入院 43,889 外来 11,541
	1日当り患者数	地域医療連携や医療の質が向上すれば入院患者数は増加する	人	入院 208	入院 215	入院 221
指標で表せない成果						
患者満足度						

事業の評価(所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応るには不可欠である。
	有効性	高い	・医療を行ううえで不可欠である。
	効率性	高い	・外来については、院外処方箋を実施している。 ・検査について外部委託する部門については、制限付き競争入札を導入している。 ・給食部門については、調理業務を委託している。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性(所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	廃止					
	手法の改善	廃止					
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・廃止						
今後の事業展開方針							
・23年10月1日より地方独立行政法人へ移行予定							
平成24年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)		24年度予算事業費増減見込(千円)					
平成24年度には独立行政法人へ移行しているため事業費はなし。 なお、移行後の経営安定化支援等の費用は発生する。		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	-2,110,942	0	0	-1,873,972	-236,970
		増加見込	0	0	0	0	0
差引 +		-2,110,942	0	0	-1,873,972	-236,970	

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり、今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		診療支援部門	新規/継続	継続事業	整理番号	6505003
			分割/統合			
関連 予算 科目	会計	病院事業会計	事業の分割/ 統合の内容			
	款	企業会計では、事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。	事業所管課	市立市民病院総務課		
	項		連絡先	(078)912-2323		
	目		自治/法定	開始年度	昭和 25 年度	
	事業		根拠法令・要綱等	明石市病院事業の設置等に関する条例、明石市立病院管理規則		
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理		
個別計画						

事業の 目的	対象（誰を・何を）	患者・市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応えられるよう、医療部門を間接的に支援する。

事業 内容	診療支援部門は医療部門を側面からサポートする。主な診療支援部門は以下の通り 臨床工学部門 生命維持管理装置や医療機器の専門家としてそれらを安全に操作、管理し他の医療スタッフの方々と連携しながら安全な医療を提供できるよう努め、安全な医療・看護が行われるよう日々感染対策を行っている。 看護補助部門 看護助手は看護師を補助し、クラークは外来、病棟において事務を行う。 中央材料部門 病院全体の手術や処置で使用する器械・器具の洗浄 包装 滅菌を行い現場へ供給している。 医療安全推進部門 医療事故の予防・再発防止対策及び発生時の適切な対応など医療安全体制を確立し、適切かつ安全で質の高い医療サービスの提供を図ることを目的とし、インシデント・アクシデント事例を収集し、調査・分析、職員への啓発、広報及び研修などを行っている。 地域医療連携部門 地域の中核病院として地域の病院との連携に努め、地域住民の方々のニーズに合った医療の提供を目指し、紹介患者の予約受付、他医療機関等との連絡調整及び情報交換、入院患者の病院・各種施設・在宅等への退院支援業務を行っている。 診療録管理部門 患者が退院後、診療録が速やかに搬入されるよう病棟と連絡を取り合い診療録を保存・管理を行っている。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.00	アルバイト	0.00
21決算	137,715	265,114	402,829	0	0	402,829	0	正規	0.00	アルバイト	0.00
22決算	106,320	284,033	390,353	0	0	390,353	0	再任用	0.00	その他	0.00
23当初予算	122,273	289,577	411,850	0	0	411,850	0	任期付	0.00	合計	0.00

区分(節)	内容	金額	23年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額
経費	事業経営に必要な経費	61,005	経費	事業経営に必要な経費	71,855	
減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	7,956	減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	9,184	
研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用	2,029	研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用	2,704	
医業外費用	企業債利息等	8,179	医業外費用	企業債利息等	8,542	
合計		106,320		合計		122,273

整理番号	6505003	事務事業名	診療支援部門
------	---------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み(9月末)
	1日当り診療単価	医療の質が向上すれば単価は上がる。	円	入院 43,652 外来 10,284	入院 46,728 外来 10,357	入院 43,889 外来 11,541
	1日当り患者数	地域医療連携や医療の質が向上すれば入院患者数は増加する。	人	入院 208	入院 215	入院 221
指標で表せない成果						
患者満足度						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応るには不可欠である。
	有効性	高い	・医療を行ううえで不可欠である。
	効率性	やや低い	・効率性を求める部門ではない。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	休廃止					
	手法の改善	休廃止					
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針							
・23年10月1日より地方独立行政法人へ移行予定							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
平成24年度には独立行政法人へ移行しているため事業費はなし。 なお、移行後の経営安定化支援等の費用は発生する。		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	-411,850	0	0	-411,850	0
		増加見込	0	0	0	0	0
差引 +			-411,850	0	0	-411,850	0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり、今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		医事部門	新規/継続	継続事業	整理番号	6505004	
			分割/統合				
関連 予算 科目	会計	病院事業会計	事業の分割/ 統合の内容				
	款	企業会計では、事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。	事業所管課				市立市民病院総務課
	項		連絡先				(078)912-2323
	目		自治/法定		開始年度	昭和 25 年度	
	事業		根拠法令・要綱等				
第5次長総の戦略の柱展開の方向		実施方法					<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
個別計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	
	患者・市民	
意図（どういう状態にしたいのか）		
患者サービスの向上を図ると同時に、医療部門へのサポートを行う。		

事業内容	<p>医事部門は、医療事務を行う部門であり、その業務内容は、来院される患者さんの受付事務、入退院事務、診療費の請求及び診療報酬請求事務などである。</p> <p>また、来院される患者さんと一番最初に接する部門であるため、気持ちよく診療を受けていただくことができるよう患者サービスの向上に努めている。</p> <p>平成19年度に、検査、処方などに係る電子情報システムであるオーダーリングシステムを導入し、医療現場の業務を電子化することにより、待ち時間の短縮を図っている。</p> <p>また、オーダーリングシステムの導入は、医療部門における医療安全の向上及び業務の効率化にも寄与している。</p> <p>平成21年3月から、診療費等の支払いにクレジットカード決済を導入し、患者サービスの向上と未収金対策を図っている。</p> <p>なお、平成20年度の取扱件数及び金額は、462件、14百万円(平成21年3月分のみ)である。</p> <p>平成21年4月から、患者さんの病名や症状をもとに手術などの診療行為の有無に応じて、厚生労働省から定められた1日当たりの診断群分類点数をもとに医療費を計算する新しい会計方式であるDPCを導入した。</p> <p>DPCの導入により、患者さんの属性、疾病や診療行為ごとの情報が標準化されるため、医療部門における医療の質の向上に寄与している。</p>	
------	--	--

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.00	アルバイト	0.00
21決算	131,104	45,600	176,704	0	0	176,704	0	正規	0.00	アルバイト	0.00
22決算	122,526	80,115	202,641	0	0	202,641	0	再任用	0.00	その他	0.00
23当初予算	138,227	81,303	219,530	0	0	219,530	0	任期付	0.00	合計	0.00

22年度決算明細	区分(節)	内容	金額	23年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額
	材料費	薬品費・診療材料費・給食材料費等	537		571	材料費	薬品費・診療材料費・給食材料費等
経費	事業経営に必要な経費	45,432	54,752	経費	事業経営に必要な経費	54,752	
減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	68,917	78,182	減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	78,182	
研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用	275	367	研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用	367	
医業外費用	企業債利息等	7,365	4,355	医業外費用	企業債利息等	4,355	
合計			122,526	合計			138,227

整理番号	6505004	事務事業名	医事部門
------	---------	-------	------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み(9月末)
	過年度医業未収金	未収金が少ない程回収が効率的に行えている。	千円	17,442	15,058	15,000
	診療報酬査定減点率	請求点数に対する減点点数で少ない程良い。	%	入院0.28 外来0.54	入院0.28 外来0.54	入院0.28 外来0.54
指標で表せない成果						
患者満足度、待ち時間						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・病院事業を経営するにあたって医事部門の役割は不可欠であり、必要性が認められる。
	有効性	高い	・医療事務が適正かつ円滑に実施されていることが認められる。 ・診療費等の支払いにクレジットカード決済を導入するなど先進的な取組みが行われている。
	効率性	高い	・専門的知識が必要な医療事務業務には民間委託が行われており、業務の効率化が図られていると認められる。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	休廃止					
	手法の改善	休廃止					
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針							
・23年10月1日より地方独立行政法人へ移行予定							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
平成24年度には独立行政法人へ移行しているため事業費はなし。 なお、移行後の経営安定化支援等の費用は発生する。		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	-219,530	0	0	-219,530	0
		増加見込	0	0	0	0	0
差引 +			-219,530	0	0	-219,530	0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり、今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名	総務部門	新規/継続	継続事業	整理番号	6505005	
		分割/統合				
関連 予算 科目	会計	病院事業会計	事業の分割/ 統合の内容			
	款	企業会計では、事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。	事業所管課	市立市民病院総務課		
	項		連絡先	(078)912-2323		
	目		自治/法定	開始年度	昭和 25 年度	
	事業		根拠法令・要綱等	明石市病院事業の設置等に関する条例、明石市立病院管理規則		
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理		
個別計画						

事業 の 目的	対象（誰を・何を）	患者・市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応えられるよう医療部門等を支援する。

事業 内容	<p>総務部門は病院運営に係る様々な事務処理を執り行っている。 事業の計画及び総合調整、職員の服務及び人事給与、職員の研修及び福利厚生などに関する事務を行うこと。 予算の編成及び執行の調整、決算及び財務諸表の作成などに関する事務を行うこと。 施設及び固定資産の維持管理、建物等の増改築及び営繕計画などに関する業務を行うこと。 部門内は3つの係（庶務係・経理係・施設係）に分かれており、上記の業務内容を細分化し、日々の業務にあたっている。市民病院は様々な職種の職員が働いており、それぞれが密接に連携し、協力しあうことで患者が充実した医療サービスを受けることができるように医師、看護師等を陰から支えている。</p>
----------	---

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.00	アルバイト	0.00
21決算	69,787	174,590	244,377	0	0	244,377	0	正規	0.00	アルバイト	0.00
22決算	51,998	162,829	214,827	0	0	214,827	0	再任用	0.00	その他	0.00
23当初予算	128,615	165,749	294,364	0	0	294,364	0	任期付	0.00	合計	0.00

22 年度 決算 明細	区分(節)	内容	金額	23 年度 当初 予算 明細	区分(節)	内容	金額
	材料費	薬品費・診療材料費・給食材料費等	1,935		2,028	材料費	薬品費・診療材料費・給食材料費等
経費	事業経営に必要な経費	37,562	46,596	経費	事業経営に必要な経費	46,596	
減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	5,155	5,973	減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	5,973	
研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用	1,017	1,356	研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用	1,356	
医業外費用	企業債利息等	6,329	72,662	医業外費用	企業債利息等	72,662	
	合計		51,998		合計		128,615

整理番号	6505005	事務事業名	総務部門
------	---------	-------	------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み(9月末)
	時間外勤務時間数	事務の見直し、効率化により、総務課の時間外時間数を削減することを成果指標とする。	時間	4,297	3,791	1,900
	入札率	備品査定価格に対する落札価格	%	89.4	94.2	76.0
指標で表せない成果						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・市民から信頼される高度で良質な医療を提供できるように医師、看護師等を陰から支えるためには不可欠である。
	有効性	高い	・院内保育所の開設により病院職員が子育てをしながら働きやすい環境づくりを推進している。 ・充実した医療サービスを提供できるように体制づくりに貢献していると思われる。 ・SPD(物品管理供給一元化)システムの見直しにより、診療材料費のコスト削減が図られたと思われる。
	効率性	高い	・院内保育所の開設、研修・指導体制の充実など、病院職員にとって働きやすい環境を整え、魅力ある病院づくりの取り組みが図られている。 ・SPD(物品管理供給一元化)システムの見直しを行い、診療材料費の効率的な管理の推進を図っている。 ・薬品、診療材料の専門的知識を持った業者による継続的な価格交渉やスケールメリットを活かせるよう診療材料の同種材料の集約化や共同購入などを行っている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	休廃止					
	手法の改善	休廃止					
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針							
・23年10月1日より地方独立行政法人へ移行予定							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
平成24年度には独立行政法人へ移行しているため事業費はなし。 なお、移行後の経営安定化支援等の費用は発生する。		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	-294,364	0	0	-294,364	0
		増加見込	0	0	0	0	0
差引 +			-294,364	0	0	-294,364	0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり、今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		固定資産購入費	新規/継続	継続事業	整理番号	6505006	
			分割/統合				
関連 予算 科目	会計	病院事業会計	事業の分割/ 統合の内容				
	款	企業会計では、事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。	事業所管課				市立市民病院総務課
	項		連絡先				(078)912-2323
	目		自治/法定		開始年度	昭和 25 年度	
	事業		根拠法令・要綱等				
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向			実施方法				<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
個別計画							

事業の 目的	対象（誰を・何を）	患者・市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応える。

事業内容	21年度はRI装置をはじめ器械備品57品目を購入した。 22年度は3.0テスラMRIをはじめ器械備品40品目を購入した。 23年度はアンギオ(血管撮影装置)をはじめ器械備品32品目を購入予定。
------	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
21決算	258,762	0	258,762	2,927	252,400	3,435	0	0.00	0.00	0.00	0.00
22決算	460,194	0	460,194	0	459,000	1,194	0	0.00	0.00	0.00	0.00
23当初予算	421,000	0	421,000	0	420,000	1,000	0	0.00	0.00	0.00	0.00

22年度 決算 明細	区分(節)	内容	金額	23年度 当初 予算 明細	区分(節)	内容	金額
		備品購入費	備品購入費		460,194		備品購入費
	合計		460,194		合計		421,000

整理番号	6505006	事務事業名	固定資産購入費
------	---------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み(9月末)
	固定資産回転率	$\frac{\text{医療に投下された固定資産と医療収益との割合を示すもので、設備機器の利用効率を表す。年 1.1～1.3回転を目標とし、回転数が多い程設備機器の利用効率が良いである。}}$	回	0.8	0.9	0.9
指標で表せない成果						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・安全・安心で質の高い医療を継続していくには不可欠である。
	有効性	高い	・安全・安心で質の高い医療に役立っている。
	効率性	高い	・査定に際しては収益にどれだけ貢献できるかを考慮している。 ・院内に機種選定委員会を設け、選定に際しては様々な角度から議論を重ねている。また同程度の効果があるような場合にはより廉価な機種を選定している。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	休廃止					
	手法の改善	休廃止					
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針							
・23年10月1日より地方独立行政法人へ移行予定							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
平成24年度には独立行政法人へ移行しているため事業費はなし。 なお、移行後の経営安定化支援等の費用は発生する。		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	-421,000	0	-420,000	-1,000	0
		増加見込	0	0	0	0	0
差引 +		-421,000	0	-420,000	-1,000	0	

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり、今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		企業債償還金	新規/継続	継続事業	整理番号	6505007
			分割/統合			
関連 予算 科目	会計	病院事業会計	事業の分割/ 統合の内容			
	款	企業会計では、事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。	事業所管課	市立市民病院総務課		
	項		連絡先	(078)912-2323		
	目		自治/法定	開始年度	不明	
	事業		根拠法令・要綱等	地方財政法		
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他
個別計画				<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	

事業の 目的	対象(誰を・何を)	借入資本金(企業債)
	意図(どういう状態にしたいのか)	元金を完済する。

事業内容	建物・備品の取得にあたっては企業債を活用しているため、償還期限の到来した元金を償還する。 平成23年度償還予定額 1,645,000,000円(うち借換による繰上償還1,141,100千円) 未償還額 4,474,127,152円

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.00	アルバイト	0.00
21決算	387,080	0	387,080	0	0	259,767	127,313	再任用	0.00	その他	0.00
22決算	1,428,754	0	1,428,754	0	0	1,198,018	230,736	任期付	0.00	合計	0.00
23当初予算	1,645,000	0	1,645,000	0	0	1,366,852	278,148				

22年度 決算 明細	区分(節)	内容	金額	23年度 当初 予算 明細	区分(節)	内容	金額
		企業債償還金	企業債(建物・備品等にかかる)償還金		1,428,754		企業債償還金
	合計		1,428,754		合計		1,645,000

整理番号	6505007	事務事業名	企業債償還金
------	---------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み(9月末)
	企業債元利負担率	医業収益に対する企業債償還元利金である。高くなると経営を圧迫する。	%	11.2	10.1	33.0
指標で表せない成果						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・企業債を活用した場合には当然発生する費用である。
	有効性	高い	・企業債を活用して資産を取得することは、世代間負担になるし、経営が厳しい状況では有用である。
	効率性	高い	・最低限の人員で事務を行っており効率化の余地はない。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	休廃止					
	手法の改善	休廃止					
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針							
・23年10月1日より地方独立行政法人へ移行予定							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
平成24年度には独立行政法人へ移行しているため事業費はなし。 なお、移行後の経営安定化支援等の費用は発生する。		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	-1,645,000	0	0	-1,366,852	-278,148
		増加見込	0	0	0	0	0
差引 +			-1,645,000	0	0	-1,366,852	-278,148

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり、今後変更があり得ます。

整理番号	6505008	事務事業名	敷金
------	---------	-------	----

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み(9月末)
	借上げ件数	医師の赴任に係る事務手続きの軽減に役立っているか。	件	1	3	3
指標で表せない成果						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・医師確保には必要
	有効性	高い	・医師の赴任に係る事務手続きの軽減に役立っている。
	効率性	高い	・最低限の人員で事務を行っており効率化の余地はない。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明						
	事業の規模	休廃止							
	手法の改善	休廃止							
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止								
今後の事業展開方針									
・23年10月1日より地方独立行政法人へ移行予定									
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）							
平成24年度には独立行政法人へ移行しているため事業費はなし。 なお、移行後の経営安定化支援等の費用は発生する。		対23年度 当初予算 比	合計	財源内訳					
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源		
				削減見込	-3,000	0	0	-3,000	0
				増加見込	0	0	0	0	0
		差引 +	-3,000	0	0	-3,000	0		

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり、今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		医師修学等資金貸付金	新規/継続	継続事業	整理番号	6505009	
			分割/統合				
関連 予算 科目	会計	病院事業会計	事業の分割/ 統合の内容				
	款	企業会計では、事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。	事業所管課				市立市民病院総務課
	項		連絡先				(078)912-2323
	目		自治/法定		開始年度	平成 20 年度	
	事業		根拠法令・要綱等				
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向		実施方法					<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
個別計画							

事業の 目的	対象（誰を・何を）	医学生・研修医等
	意図（どういう状態にしたいのか）	将来の明石の医療を担う医師の育成及び確保

事業 内容	明石市立市民病院において医師の業務に従事しようとする者に対し、修学又は研修に要する資金を無利息で貸与することにより、医師の確保を図る。	
	新規貸与数	
	平成20年度	12名
	平成21年度	3名
	平成22年度	6名
	平成23年度	3名

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他	任期付
21決算	30,000	0	30,000	0	0	0	30,000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
22決算	33,000	0	33,000	0	0	0	33,000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
23当初予算	41,400	0	41,400	0	0	0	41,400	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

22年度 決算 明細	区分(節)	内容	金額	23年度 当初 予算 明細	区分(節)	内容	金額
		医師修学等貸付金	医学生・研修医等に対して修学資金を貸し付ける		33,000		医師修学等貸付金
	合計		33,000		合計		41,400

整理番号	6505009	事務事業名	医師修学等資金貸付金
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み(9月末)
	就職率	貸与したうち何人が市民病院に就職したか	人	0	0	0
指標で表せない成果						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・医師が不足しており医師の確保には必要である。
	有効性	高い	・有効性は高いが、平成20年度から開始したため、短期間で成果はでない。
	効率性	高い	・最低限の人員で事務を行っており効率化の余地はない。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	休廃止					
	手法の改善	休廃止					
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針							
・23年10月1日より地方独立行政法人へ移行予定							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
平成24年度には独立行政法人へ移行しているため事業費はなし。 なお、移行後の経営安定化支援等の費用は発生する。		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	-41,400	0	0	0	-41,400
		増加見込	0	0	0	0	0
差引 +			-41,400	0	0	0	-41,400

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり、今後変更があり得ます。